

# **奈良県教員採用試験**

**令和3年度**

**教職教養**

問1 下の文は、「日本国憲法」「学校教育法（昭和22年法律第26号）」の条文の一部である。文中の（a）～（f）に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～6から1つ選べ。

#### 日本国憲法

第二十六条　すべて国民は、法律の定めるところにより、その（a）に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。

#### 日本国憲法

第二十六条2　すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。（b）は、これを無償とする。

#### 学校教育法

第一条　この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、（c）学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び専門学校とする。

#### 学校教育法

第十六条　保護者（子に対して親権を行う者（親権を行う者のないときは、未成年後見人）をいう。以下同じ。）は、次条に定めるところにより、子に（d）の普通教育を受けさせる義務を負う。

#### 学校教育法

第三十四条　小学校においては、文部科学大臣の（e）を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しなければならない。

#### 学校教育法

第四十三条　小学校は、当該小学校に関する保護者及び地域住民その他関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該小学校の教育活動その他学校運営の状況に関する（f）を積極的に提供するものとする。

- |   |        |          |          |         |        |          |
|---|--------|----------|----------|---------|--------|----------|
| 1 | a - 能力 | b - 初等教育 | c - 専門   | d - 十二年 | e - 認可 | f - 情報   |
| 2 | a - 個性 | b - 義務教育 | c - 専門   | d - 十二年 | e - 認可 | f - 情報   |
| 3 | a - 学力 | b - 初等教育 | c - 専修   | d - 十五年 | e - 検定 | f - 参加機会 |
| 4 | a - 個性 | b - 学校教育 | c - 義務教育 | d - 九年  | e - 検定 | f - 参加機会 |
| 5 | a - 学力 | b - 学校教育 | c - 専修   | d - 十五年 | e - 認可 | f - 情報   |
| 6 | a - 能力 | b - 義務教育 | c - 義務教育 | d - 九年  | e - 検定 | f - 情報   |

問2 下の文は、「学校教育法」(昭和22年法律第26号)の条文の一部である。文中の( a )～( f )に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～6から1つから選べ。

学校教育法

第二十一条 義務教育として行われる普通教育は、教育基本法(平成十八年法律第百二十号)

第五条第二項に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するように行われるものとする。

- 一 学校内外における社会的活動を促進し、自主、自律及び協同の精神、( a )意識、公正な判断力並びに公共精神に基づき車体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 二 学校内外における( b )活動を促進し、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 三 我が国と郷土の現状と歴史について、正しい理解に導き、( c )と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うとともに、進んで外国の文化の理解を通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。
- 四 家族と家庭の役割、生活に必要な衣、食、住、( d )、産業その他の事項について基礎的な理解と技能を養うこと。
- 五 ( e )に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと。
- 六 生活に必要な数量的な関係を正しく理解し、処理する基礎的な能力を養うこと。
- 七 生活にかかわる自然現象について、観察及び実験を通じて、科学的に理解し、処理する基礎的な能力を養うこと。
- 八 健康、安全で幸福な生活のために必要な習慣を養うとともに、運動を通じて体力を養い、心身の調和的発達を図ること。
- 九 生活を明るく豊かにする音楽、美術、文芸その他の芸術について基礎的な理解と技能を養うこと。
- 十 職業についての基礎的な知識と技能、( f )を重んずる態度及び個性に応じて将来の進路を選択する能力を養うこと。

- |          |            |        |            |         |        |
|----------|------------|--------|------------|---------|--------|
| 1 a - 規範 | b - 自然体験   | c - 伝統 | d - 情報     | e - 読書  | f - 勤労 |
| 2 a - 道徳 | b - 地域貢献   | c - 伝統 | d - 農業     | e - 活字  | f - 規律 |
| 3 a - 倫理 | b - 地域貢献   | c - 習慣 | d - 情報     | e - 外国語 | f - 規律 |
| 4 a - 規範 | b - ボランティア | c - 社会 | d - 農業     | e - 外国語 | f - 経済 |
| 5 a - 倫理 | b - 自然体験   | c - 社会 | d - 行政サービス | e - 読書  | f - 経済 |
| 6 a - 道徳 | b - ボランティア | c - 習慣 | d - 行政サービス | e - 活字  | f - 勤労 |

問3 下の文は、「学校保健安全法」(昭和33年法律56号)の条文の一部である。文中の( a )～( f )に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～6から1つ選べ。

第十九条 校長は、感染症にかかるつており、かかるつている疑いがあり、又はかかるおそれのある児童生徒等があるときは、政令で定めるところにより、( a )させるところができる。

第二十条 ( b )は、感染症の予防上必要があるときは、臨時に、学校の全部又は、一部の休業を行うことができる。

第二十七条 学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、当該学校の施設及び設備の安全点検、児童生徒等に対する( c )を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修その他学校における安全に関する事項について計画を策定し、これを実施しなければならない。

第二十九条 学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、当該学校の実情に応じて、危険等発生時において当該学校の職員が取るべき措置の( d )内容及び手順を定めた対処要領(次項において「危険等発生時対処要領」という。)を作成するものとする。

2 校長は、危険時発生時対処要領の職員に対する周知、( e )の実施その他の危険等発生時において職員が適切に対処するために必要な措置を講ずるものとする。

3 学校においては、事故等により児童生徒等に危険が生じた場合において、当該児童生徒等及び当該事故等により( f )その他心身の健康に対する影響を受けた児童生徒等その他の関係者の心身の健康を回復させるため、これらの者に対して必要な支援を行うものとする。この場合においては、第十条の規定を準用する。

- |   |           |            |          |         |        |           |
|---|-----------|------------|----------|---------|--------|-----------|
| 1 | a - 自宅療養  | b - 校長     | c - 学校給食 | d - 具体的 | e - 研修 | f - 精神的苦痛 |
| 2 | a - 出席を停止 | b - 学校の設置  | c - 通学   | d - 具体的 | e - 訓練 | f - 心理的外傷 |
| 3 | a - 自宅待機  | b - 校長     | c - 放課後  | d - 一般的 | e - 評価 | f - 挫傷    |
| 4 | a - 自宅療養  | b - 学校の設置者 | c - 通学   | d - 理論的 | e - 評価 | f - 精神的苦痛 |
| 5 | a - 出席を停止 | b - 養護教諭   | c - 放課後  | d - 一般的 | e - 訓練 | f - 挫傷    |
| 6 | a - 自宅待機  | b - 養護教諭   | c - 学校給食 | d - 理論的 | e - 研修 | f - 心理的外傷 |

問4 下の文は、「教育公務員特例法（昭和24年法律第1号）」、「地方公務員法（昭和25年法律第261号）」の条文の一部である。文中の（a）～（f）に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～6から1つ選べ。

#### 教育公務員特例法

第一条 この法律は、教育を通じて国民全体に奉仕する教育公務員の職務とその責任の（a）に基づき、教育公務員の任免、人事評価、給与、分限、懲戒、服務及び研修等について規定する。

#### 教育公務員特例法

第二十一条 教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず（b）と修養に努めなければならない。

#### 地方公務員法

第三十条 すべての職員は、全体の奉仕者として（c）の利益のために勤務し、且つ、職務の遂行に当つては、全力を挙げてこれに専念しなければならない。

#### 地方公務員法

第三十一条 職員は、条例の定めるところにより、（d）の宣誓をしなければならない。

#### 地方公務員法

第三十七条 職員は、地方公共団体の機関が代表する使用者としての住民に対して同盟罷業、怠業その他の（e）をし、又は地方公共団体の機関の活動能率を低下させる怠業的行為をしてはならない。又何人も、このような違法な行為を企て、又はその遂行を共謀し、そそのかし、若しくはあおつてはならない。

#### 地方公務員法

第三十八条 職員は、（f）の許可を受けなければ、商業、工業又は金融業その他営利を目的とする私企業（以下この項及び次条第一項において「営利企業」という。）を営むことを目的とする会社その他の団体の役員その他人事委員会規制（人事委員会を置かない地方公共団体においては、地方公共団体の規則）で定める地位を兼ね、若しくは自ら営利企業を営み、又は報酬を得ていかなる事業若しくは事務にも従事してはならない。

- |           |        |        |        |          |            |
|-----------|--------|--------|--------|----------|------------|
| 1 a - 専門性 | b - 研究 | c - 公共 | d - 職務 | e - 団結行為 | f - 職務上の上司 |
| 2 a - 専門性 | b - 研修 | c - 国民 | d - 着任 | e - 団体交渉 | f - 職務上の上司 |
| 3 a - 特殊性 | b - 研究 | c - 公共 | d - 服務 | e - 争議行為 | f - 任命権者   |

- |   |         |        |          |        |          |          |
|---|---------|--------|----------|--------|----------|----------|
| 4 | a - 特殊性 | b - 学習 | c - 児童生徒 | d - 職務 | e - 争議行為 | f - 校長   |
| 5 | a - 重要性 | b - 学習 | c - 児童生徒 | d - 服務 | e - 団結行為 | f - 任命権者 |
| 6 | a - 重要性 | b - 研修 | c - 国民   | d - 着任 | e - 団体交渉 | f - 校長   |

kyosai-guild.jp

問 5 下の文は、「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について(答申)」(平成31年1月25日 中央教育審議会)の一部である。次の問い合わせに答えよ。

- (前略) 我が国の義務教育は高い成果をあげている。例えば、新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での活動の基盤となる地域基盤社会となり、それらをめぐる変化の速さが加速度的となり、情報化やグローバル化といった社会の変化が人間の予測を超えて進展することを踏まえ、各国の義務教育修了段階の15歳の子供たちがどのような質の学力を有しているかを測るために、a 経済協力開発機構が2000年から3年に一度実施しているPISA調査においては、( b )的リテラシーや科学的リテラシーは経済開発協力機構の加盟国中一位(PISA2015)であるなど我が国の15歳段階の子供たちは世界トップ水準の学習成果を示している。
- また、文部科学省が全国の小・中学校において毎年実施している全国学力・学習状況調査においても、成績下位の都道府県の平均正答率は確実に上昇し、都道府県単位の成績の格差が縮小するなどボリュームゾーンの「底上げ」も確実に進んでいる。
- さらに、同じく全国学力・学習状況調査において、「人の役に立つ人間になりたいと思うか」、「学校のきまり(規則)を守っているか」などの規範意識に関する質問に肯定的に回答した児童生徒の割合は( c )割程度と、( d )となっている。スポーツ庁が実施する体力・運動能力調査においても、義務教育段階の子供の新体力テスト合計点は( e )傾向が続いている。
- 他方、f 人工知能、ビッグデータ、Internet of Things (IoT)、ロボティクス等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられ、社会の在り方そのものが現在とは「非連続的」といえるほど劇的に変わるとされるSociety 5.0の到来が予想されている。(後略)

(1) 下線部aを英文字で表した場合、適切な語句はどれか。1~6から1つ選べ。

1 IMF 2 UNESCO 3 UNICEF 4 WTO 5 WHO 6 OECD

(2) 文中の( b )に当てはまる語句はどれか。1~6から1つ選べ。

1 批判 2 文化 3 器械 4 法 5 政治 6 数学

(3) 空欄( c )~( e )に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1~6から1つ選べ。

1 c - 9 d - 高い水準 e - 緩やかな向上  
2 c - 9 d - 課題のない水準 e - 大幅な向上  
3 c - 5 d - 平均的な水準 e - 緩やかな向上

4 c - 5 d - 課題のある水準 e - 緩やかな下降

5 c - 3 d - 低い水準 e - 緩やかな下降

6 c - 3 d - 危機的な水準 e - 大幅な下降

(4) 下線部 f を英文字で表した場合、適切な語句はどれか。1～6 から 1 つ選べ。

1 SE      2 IT      3 ICT      4 AI      5 LSI      6 IP

問6 下の文は、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月21日 中央教育審議会）の一部である。次の問い合わせに答えよ。

第1部 学習指導要領等改訂の基本的な方向性

第1章 これまでの学習指導要領等改訂の経緯と子供たちの現状

（前回改訂までの経緯）

- 学習指導要領等は、教育基本法に定められた教育の目的等の実現を図るため、（ a ）に基づき国が定める教育課程の（ b ）であり、教育の目標や指導すべき内容等を示すものである。各学校においては、学習指導要領等に基づき、その記述のより具体的な意味などについて説明した教科等別の解説も踏まえつつ、地域の実情や子供の姿に即して教育課程が編成され、年間指導計画や授業ごとの学習指導案等が作成され、実施されている。

第4章 学習指導要領等の枠組みの改善と「（ c ）に開かれた教育課程」

（2） 教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の実現

（略）

（「カリキュラム・マネジメント」の三つの側面）

- （前略）「カリキュラム・マネジメント」については、これまで、教育課程の在り方を不斷に見直すという以下の②の側面から重視されてきているところであるが、「（ c ）に開かれた教育課程」の実現を通じて子供たちに必要な資質・能力を育成するという、新しい学習指導要領等の理念を踏まえれば、これから「カリキュラム・マネジメント」については、以下の三つの側面から捉えることができる。

- ① 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校教育目標を踏まえた教科等（ d ）な視点でその目標の達成に必要な教科の内容を組織的に配列していくこと。  
② 教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連の（ e ）を確立すること。  
③ 教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。

（1）文中の（ a ）に当てはまる語句はどれか。1～6から1つ選べ。

- 1 日本国憲法 2 文部科学省令 3 学校教育法  
4 教育職員免許法 5 社会教育法 6 学校教育法施行令

（2）文中の（ b ）に当てはまる語句はどれか。1～6から1つ選べ。

1 標準 2 目当て 3 基準 4 指標 5 到達点 6 規範

(3) 文中の ( c ) に当てはまる語句はどれか。1～6 から 1 つ選べ。

1 地域住民 2 世界 3 保護者 4 社会 5 学校間 6 家庭

(4) 文中の ( d ) に当てはまる語句はどれか。1～6 から 1 つ選べ。

1 俯瞰的 2 補完的 3 専門的 4 断続的 5 橫断的 6 依存的

(5) 文中の ( e ) に当てはまる語句はどれか。1～6 から 1 つ選べ。

1 ガイドライン 2 手順 3 学校評価 4 個人内評価  
5 アセスメント 6 PDCA サイクル

問7 下の文は、「教育の情報化に関する手引」（令和元年12月 文部科学省）の一部である。文中の（ a ）～（ c ）に当てはまる語句をア～ケからそれぞれ選んだとき、正しい組合せはどれか。1～6から1つ選べ。ただし、同じ記号には、同じ語句が入るものとする。

「教育の情報化」とは、情報通信技術の、時間的・空間的制約を超える、（ a ）を有する、カスタマイズを容易にするといった特徴を生かして、教育の質の向上を目指すものであり、具体的には次の3つの側面から構成され、これらを通して教育の質の向上を図るものである。

- ① 情報教育：子供たちの情報活用能力の育成
  - ② 教科指導におけるICT活用：ICTを効果的に活用した分かりやすく深まる授業の実現等
  - ③ （ b ）の情報化：教職員がICTを活用した情報共有によりきめ細やかな指導を行うことや、（ b ）の負担軽減等
- あわせて、これらの教育の情報化の実現を支える基盤として、
- ・教師のICT活用指導力等の向上
  - ・学校のICT環境の整備
  - ・教育情報（ c ）の確保
- の3点を実現することが極めて重要である。

ア 双方向性 イ 相互作用性 ウ 二元性 エ 事務 オ 教務  
カ 校務 キ 秘密保持 ク セキュリティ ケ セイフティネット

- |                  |                  |                  |
|------------------|------------------|------------------|
| 1 a- イ b- オ c- ク | 2 a- ウ b- カ c- キ | 3 a- イ b- エ c- ケ |
| 4 a- ア b- カ c- ク | 5 a- ア b- エ c- ケ | 6 a- ウ b- オ c- キ |

問8 下の文は、「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」（平成31年1月25日 文部科学省）の一部である。文中の（a）～（c）に当てはまる語句をア～ケからそれぞれ選んだとき、正しい組合せはどれか。1～6から1つ選べ。

（1）本ガイドラインにおいて対象となる「勤務時間」の考え方

教師は、社会の変化に伴い子供たちがますます多様化する中で、語彙、知識、概念がそれに異なる一人一人の子供たちの発達の段階に応じて、指導の内容を理解させ、考えさせ、表現させるために、言語や指導方法をその場面ごとに選択しながら、学習意欲を高める授業や適切なコミュニケーションをとって教育活動にあたることが期待されている。このような教師の専門職としての専門性や職務の特徴を十分に考慮しつつ、「超勤（a）項目」以外の業務が長期化している実態も踏まえ、こうした業務を行う時間も含めて「勤務時間」を適切に把握するために、今回のガイドラインにおいては、在校時間等、外形的に把握することができる時間を対象とする。

具体的には、教師等が校内に在校している在校時間を対象とすることを基本とする。なお、所定の勤務時間外に校内において自らの判断に基づいて自らの力量を高めるために行う自己研鑽の時間その他の業務外の時間については、自己申告に基づき除くものとする。

これに加えて、校外での勤務についても、職務として行う研修への参加や児童生徒等の引率等の職務に従事している時間については、時間外勤務命令に基づくもの以外も含めて外形的に把握し、対象として合算する。また、各地方公共団体で定める方法によるテレワーク等によるものについても合算する。（中略）

（2）上限の目安時間

- ① 1か月の在校等時間の総時間から条例等で定められた勤務時間の総時間を減じた時間が、（b）時間を超えないようにすること。
- ② 1年間の在校等時間の総時間から条例等で定められた勤務時間の総時間を減じた時間が、（c）時間をを超えないようにすること。

ア 3 イ 4 ウ 5 エ 45 オ 55 カ 60 キ 160 ク 260 ケ 360

1 a- ア b- オ c- キ	2 a- イ b- エ c- ケ	3 a- ウ b- カ c- ク
4 a- イ b- オ c- ク	5 a- ウ b- カ c- ケ	6 a- ア b- エ c- キ

問9 下の文は、「学校安全資料『生きる力』をはぐくむ学校での安全教育（改訂2版）」（平成31年3月 文部科学省）の一部である。下線部a～fのそれぞれについて、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せはどれか。1～6から1つ選べ。

教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等をa 主体的・対話的で深い学びの視点で関連性をもたせながら、組み立てていくことが重要であり、そのために、学習指導要領において「b カリキュラム・マネジメント」が規定されたところである。

安全に関する指導については、体育科・保健体育科、c 技術・家庭科及び特別活動の時間はもとより、各教科、道徳科及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めることとしている。特に、様々な自然災害の発生や、情報化やグローバル化等の社会の変化に伴い児童生徒等を取り巻く安全に関する環境も変化していることから、身の回りの生活の安全、d 交通安全、防災に関する指導や、情報技術の進展に伴う新たな事件・事故防止、国民保険等の非常時の対応との新たな安全上の課題に関する指導を一層重視し、安全に関する情報を正しく判断し、安全のための行動に結びつけるようすることが重要であるとしている。その際、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと（「b カリキュラム・マネジメント」）に努めることが重要である。

特に、事故等の原因や防止の仕方、事故発生時の応急手当の方法に関する理解や、e 危険予測と回避の方法については、f 総合的な学習の時間において計画的に実施されることが必要である。また、他の教科等においても、その特性に応じて、生活安全・d 交通安全・災害安全に関する指導を行ったり、必要に応じて学習活動を安全に行うための指導を行ったりすることになる。

- |   |       |       |       |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | a - ○ | b - ○ | c - × | d - × | e - ○ | f - ○ |
| 2 | a - × | b - × | c - × | d - ○ | e - × | f - ○ |
| 3 | a - ○ | b - ○ | c - ○ | d - × | e - × | f - ○ |
| 4 | a - × | b - ○ | c - × | d - ○ | e - × | f - × |
| 5 | a - ○ | b - × | c - ○ | d - × | e - ○ | f - ○ |
| 6 | a - × | b - ○ | c - ○ | d - ○ | e - ○ | f - × |

問 10 下の文は、「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」（平成 31 年 3 月 29 日 文部科学省初等中等教育局長）の一部である。下線部 a～f のそれぞれについて、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せはどれか。1～6 から 1 つ選べ。

## 2. 学習評価の主な改善点について

- (1) 各教科等の目標及び内容を「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「a 主体的に学習に取り組む態度」の資質・能力の三つの柱で再整理した新学習指導要領の下でのb 指導と評価の一体化を推進する観点から、観点別学習状況の評価の観点についても、これらの資質・能力に関わる「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「c 学びに向かう力、人間性等」の 3 観点に整理して示し、設置者において、これに基づく適切な観点を設定することとしたこと。その際、「a 主体的に学習に取り組む態度」については、「c 学びに向かう力、人間性等」として観点別学習状況の評価にはなじまず、d 集団準拠評価を通じて見取ることができる部分があることに留意する必要があることを明確にしたこと。
- (2) 「c 学びに向かう力、人間性等」については、各教科等の観点の趣旨に照らし、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価することとしたこと（各教科の観点の趣旨は、本通知の別紙 4 及び別紙 5 に示している）。
- (3) 学習評価の結果の活用に際しては、各教科等の児童生徒の学習状況を観点別に捉え、各教科等における学習状況をe 分析的に把握することが可能な観点別学習状況の評価と、各教科等の児童生徒の学習状況を総括的に捉え、教育課題全体における各教科等の学習状況を把握することが可能なf 成績の双方の特徴を踏まえつつ、その後の指導の改善等を図ることが重要であることを明確にしたこと。
- (4) 特に高等学校及び特別支援学校（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由又は病弱）高等部における各教科・科目の評価について、学習状況をe 分析的に捉える観点別学習状況の評価と、これらを総括的に捉えるf 成績の両方について、学習指導要領に示す各教科・科目の目標に基づき学校が地域や生徒の実態に即して定めた当該教科・科目の目標や内容に照らし、その実現状況を評価する、目標に準じた評価として実施することを明確にしたこと。

- |   |       |       |       |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | a - × | b - ○ | c - × | d - × | e - ○ | f - × |
| 2 | a - ○ | b - × | c - ○ | d - ○ | e - × | f - ○ |
| 3 | a - × | b - ○ | c - × | d - ○ | e - × | f - × |
| 4 | a - ○ | b - × | c - ○ | d - × | e - ○ | f - ○ |
| 5 | a - × | b - ○ | c - × | d - × | e - ○ | f - ○ |

6 a - ○ b - × c - ○ d - ○ e - ○ f - ×

kyosai-guild.jp

問 11 下の文は、「生徒指導提要」(平成 22 年 3 月 文部科学省) の一部である。文中の ( a ) ~ ( d ) に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1 ~ 6 から 1 つ選べ。ただし、同じ記号には同じ語句が入るものとする。

① 児童生徒や保護者に対する援助

まず、求められるのは、児童生徒や保護者に対する援助です。実際に、不登校、( a )、非行傾向等の児童生徒や保護者への個別 ( b ) を実施し、学習の現状や進路希望を把握した上で、効果的なカウンセリングを実施し成果を挙げています。これらの成果の要因として、( c ) は、カウンセリングや ( d ) の専門的な理論・技術を身に付けていることが挙げられます。

例えば、不登校が引きこもり傾向になった児童生徒に対して、( c ) が平日の昼に訪問カウンセリングを実施することにより、児童生徒に付き添って一緒に相談室に登校できるようになりました。これは、児童生徒の不安を減少させながらのカウンセリング援助がうまくいった事例です。

(中略)

② 教員に対する援助

校内の生徒指導部会議や教育相談会議に ( c ) が出席することにより、「個を大切にする」「背景を理解する」などの ( d ) 的な視点が、教員の児童生徒理解の幅を広げ、結果的に問題行動の予防的効果が高まった例も見られます。

年間計画や研修の企画などについても、( c ) の助言を得ることにより、より意義のある効果的な年間計画や研修の企画ができた例もあります。

学校経営に積極的に関わった例としては、( c ) の助言から、「子ども用抑うつ尺度」を実施し、より深く児童生徒の置かれている状況や問題点を理解し、それらを踏まえて学校教育目標を改めた例もありました。

また、学習検査や各種検査の見方や個別相談での活かし方を研修で実施し成果を挙げた例もありました。( d ) では、「何が問題か」「どのような問題か」「問題の程度はどうか」を明らかにする ( b ) を重要視しますが、これは、積極的に学校教育に ( b ) を取り入れた例です。

また、( c ) が教員に対してコンサルテーションを行い、教員としての不登校児童生徒への支援について、児童生徒一人一人の背景を踏まえた援助の仕方を助言した例もあります。

- |   |          |            |                   |           |
|---|----------|------------|-------------------|-----------|
| 1 | a - 児童虐待 | b - アセスメント | c - スクールソーシャルワーカー | d - 臨床心理学 |
| 2 | a - 児童虐待 | b - 面接     | c - スクールソーシャルワーカー | d - 行動心理学 |
| 3 | a - いじめ  | b - アセスメント | c - スクールカウンセラー    | d - 臨床心理学 |
| 4 | a - いじめ  | b - 面接     | c - スクールソーシャルワーカー | d - 行動心理学 |

5 a-児童虐待 b- アセスメント c- スクールカウンセラー d- 行動心理学  
6 a- いじめ b- 面接 c- スクールカウンセラー d- 臨床心理学

kyosai-guild.jp

問 12 下のA～Dの人物に最も関係の深い文をア～カからそれぞれ選んだとき、正しい組合せはどれか。1～6から1つ選べ。

A 石田梅岩 B 中江藤樹 C 広瀬淡窓 D 吉田松陰

ア 江戸時代初期の儒学者で、近江の人。はじめ朱子学を修め、のちに陽明学を唱えた。村民を教化し、徳行をもって聞こえ、近江聖人と呼ばれた。著作には『翁問答』などがある。

イ 江戸幕末の思想家で、長州藩士。萩の自宅に松下村塾を開き、高杉晋作や伊藤博文ら幕末・明治期の指導者を教育した。安政の大獄に連座して投獄された。のちに老中暗殺計画が発覚するなどして処刑された。

ウ 江戸時代中期の思想家で、石門心学の祖。京都に塾を開き、商人の役割を肯定するなど、日常的な言葉と巧みな比喩で町人に倫理・道徳を説いた。著作に『都鄙問答』などがある。

エ 江戸時代後期の医者で蘭学者。大阪に蘭学を教える適塾（適々斎塾）を開いた。門下生に大村益次郎や福沢諭吉らがいた。種痘を行った。

オ 江戸時代後期の儒学者で、豊後日田の人。敬天の説を主とし、咸宜園という塾を開いた。数千人の門弟からは多くの人材を輩出した。著作に『約言』などがある。

カ 江戸時代前期の儒学者で、教育思想家。教訓書は身分を超えて大きな影響を与えたが、女性の「三従」の教えや「七去」の教えを説いた。書作に『養生訓』『和俗童子訓』などがある。

1 A - ア B - ウ C - エ D - オ 2 A - カ B - ウ C - オ D - イ

3 A - ア B - カ C - エ D - オ 4 A - ウ B - カ C - イ D - エ

5 A - ウ B - ア C - オ D - イ 6 A - カ B - ア C - イ D - エ

問 13 下のA～Dの人物に最も関係の深い文をア～カからそれぞれ選んだとき、正しい組合せはどれか。1～6から1つ選べ。

A コメニウス B ペーターゼン C モンテッソーリ D ウオッシュバーン

ア 20世紀初頭にアメリカ・イリノイ州ウィネトカの教育長を務め、ウィネトカ・プランを開発した。画一的で固定的な一斉授業の弊害を打破し、個人差に応じた教育を実現するため、カリキュラムを、生徒各自の自習による個別学習と集団的創造的活動に分けた。

イ 19世紀のアメリカ・マサチューセッツ州の初代教育長を務め、アメリカの公立学校制度の父と言われた。租税を学校経費に支出して、公費で運営する公立学校を作り、「学校を一つ作れば、牢獄が一つ閉鎖される」と述べた。

ウ 20世紀のアメリカの教育学者。教育目標の分類学を活用して形成的評価の理論を構築し、全員共通の同一の到達目標を考えた。共通の到達目標を達成するためのマスターリー・ラーニング（完全習得学習）理論を唱え、児童生徒の学習達成度の向上を図った。

エ 19世紀末～20世紀半ばのドイツの新教育運動の指導者で、イエナ大学付属実験学校で試みた学校改革案のイエナ・プランを提唱した。カリキュラムを合同教授と集団作業を中心に編成し、人格は教育的協同社会の生活の中で形成されると考え、労作協同学校を生活協同社会学校と称した。

オ 16世紀末にチェコで生まれ、17世紀半ば過ぎまでヨーロッパ各地で活躍した教育学者で、汎知学に取り組み、あらゆる人に教育が必要という理念を掲げた。あらゆる人にあらゆる事柄を教授する普遍的な技法を提示した。おもな著作には『大教授学』『世界図絵』などがある。

カ 19世紀後半から20世紀前半にかけて活躍したイタリアの女性医師で、知的障害児の子供の教育に当たった。ローマに「子供の家」を開設し、自ら開発した教具を用いた感覚教育により貧しい家庭の子供たちを教育して成果をあげ、世界中から脚光を浴びた。

- |         |       |       |       |         |       |       |       |
|---------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|
| 1 A - イ | B - ア | C - エ | D - オ | 2 A - オ | B - エ | C - カ | D - ア |
| 3 A - ア | B - カ | C - ウ | D - イ | 4 A - エ | B - イ | C - ア | D - ウ |
| 5 A - カ | B - ウ | C - オ | D - エ | 6 A - ウ | B - オ | C - イ | D - カ |

問 14 下のA～Cの文は、記憶に関する説明文である。各説明文に対応する用語の正しい組合せはどれか。1～6から1つ選べ。

- A 受容した刺激情報をそのままの形で短時間保持する記憶で、特に視覚系ではアイコニック・メモリ（数百ミリ秒以内）、聴覚系ではエコーイック・メモリ（数秒以内）と呼ばれる。
- B 意識的な操作が可能な状態で情報を保持することができる記憶で、短期記憶の情報処理の機能を強調した概念を指す。
- C ほぼ無限の容量をもつ永続的な記憶である長期記憶のうち、言語的に記述できるとは限らない記憶（例えば、自転車の乗り方などに関する記憶）を指す。

- 1 A - 手続記憶 B - 感覚記憶 C - 作業記憶  
2 A - 手続記憶 B - 作業記憶 C - 感覚記憶  
3 A - 感覚記憶 B - 手続記憶 C - 作業記憶  
4 A - 感覚記憶 B - 作業記憶 C - 手続記憶  
5 A - 作業記憶 B - 感覚記憶 C - 手続記憶  
6 A - 作業記憶 B - 手續記憶 C - 感覚記憶

問 15 下のA～Cの文は、心理学的効果に関する説明文である。各説明文に対応する用語の正しい組合せはどれか。1～6から1つ選べ。

- A 児童生徒がある側面において望ましい特徴をもっていると、その評価を当該児童生徒に対する全体的な評価にまで広げてみてしまう傾向。
- B 教師が児童生徒に対してもっている期待が、学業成績を左右し、教師が期待をもった児童生徒は成績が向上しやすいという傾向。
- C 信憑性の低い送り手からの説得は、説得直後はあまり態度変容に効果がなく、一定時間経過後の方が効果的な場合があるという傾向。説得内容についての記憶と送り手についての記憶とが分離することによって生じる。

- 1 A -ハロー効果      B - ピグマリオン効果      C - スリーパー効果
- 2 A - バーナム効果      B - ピグマリオン効果      C - スリーパー効果
- 3 A - ピグマリオン効果      B - スリーパー効果      C - バーナム効果
- 4 A - ハロー効果      B - ピグマリオン効果      C - バーナム効果
- 5 A - ピグマリオン効果      B - スリーパー効果      C - ハロー効果
- 6 A - バーナム効果      B - スリーパー効果      C - ハロー効果

問 16 心理療法に関する説明として、誤っているものを 1～6 から 1つ選べ。

- 1 ロジャーズ (Rogers, C.R.) は、それまでの指示的な心理療法とは異なる独自の人間観に立ったクライエント中心療法を創始した。
- 2 行動療法では、学習理論を理論的基盤とする行動変容の技法を提唱する。
- 3 自律訓練法は、パールズ (Perls, F.S.) が創始した心理療法で、来談者の過去の体験や成育歴の探索ではなく、「今・ここで」の体験と関係の全体性に重点をおく。
- 4 ベック (Beck, A.T.) により創始された認知療法では、来談者と支援者が一緒に来談者の認知の在り方を検証するという共同経験主義が重視される。
- 5 交流分化は、バーン (Berne, E.) が開発した「互いに反応しあっている人々の間で行われている交流を分析する」心理療法で、ゲーム分析や脚本分析が行われる。
- 6 遊戯療法にはさまざまな理論的立場があるが、アクスライン (Axline, V.M.) の提唱した「8つの原理」が理論的立場を横断した基本原則とされている。

問 17 下のA～Cの文は、学習について述べたものである。正しものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せはどれか。1～6から1つ選べ。

- A 有意味受容学習とは、意味を有する教材を用い、学習されるべき全ての内容を明確に最終形態として呈示し、学習者が各自の認知構造に関連づけながら受容していく学習方法である。
- B ジグソー学習とは、クラスを5～6名からなる小集団（原集団）に分け、各集団から1名ずつを集めた新しい集団をいくつか構成し、新しい集団で学習した内容を各自が原集団に戻りメンバー間で教えあう学習方法である。
- C プログラム学習とは、学習目標の達成のために、系統だった内容を詳細な手順に沿って学習者自身が学習を進め、反応の正誤を確認できるような学習指導の方法で、直線型プログラムと枝分かれ型プログラムの2種類がある。

- 1 A - ○ B - ○ C - ○    2 A - × B - ○ C - ○  
3 A - ○ B - × C - ○    4 A - ○ B - ○ C - ×  
5 A - × B - ○ C - ×    6 A - ○ B - × C - ×

問 18 下の文は、「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」(平成 20 年 人権教育の指導方法等に関する調査研究会議) から、学校における人権教育の目標の部分を抜粋し、一部編集したものである。下線部 a ~ e のそれぞれについて、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せはどれか。1 ~ 6 から 1 つ選べ。

人権尊重の理念は、平成 11 年の人権擁護推進審議会答申において、「自分の人権のみならず他人の人権についても正しく理解し、その権利の行使に伴う a 責任を自覚して、人権を相互に尊重し合うこと、すなわち、人権の共存の考え方とらえるべきものとされている。このことを踏まえて、人権尊重の理念について、特に学校教育において指導の充実が求められる b 人権意識等の側面に焦点を当てて児童生徒にもわかりやすい言葉で表現するならば、[自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること] であるということができる。(中略)一人一人の児童生徒がその c 資質や能力に応じ、人権の意義・内容や重要性について理解し、[自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること] ができるようになり、それが様々な場面や状況下での具体的な d 態度や行動に現れるとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた e 意欲につながるようにすることが、人権教育の目標である。

このような人権教育の実践が、民主的な社会及び国家の形成発展に努める人間の育成、平和的な国際社会の実現に貢献できる人間の育成につながっていくものと考えられる。

- |   |       |       |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | a - ○ | b - × | c - ○ | d - × | e - ○ |
| 2 | a - × | b - ○ | c - × | d - ○ | e - × |
| 3 | a - × | b - ○ | c - ○ | d - × | e - ○ |
| 4 | a - ○ | b - × | c - × | d - × | e - ○ |
| 5 | a - × | b - ○ | c - ○ | d - ○ | e - × |
| 6 | a - ○ | b - × | c - × | d - ○ | e - × |

問 19 下の表は、戦後の人権に関する国内外の主な規約等についてまとめたものである。

文中の（ a ）～（ f ）に当てはまる語句をア～シからそれぞれ選んだとき、正しい組合せはどれか。1～6 から 1 つ選べ。ただし、同じ記号には、同じ語が入るものとする。

年	国内・国外の規約等
1946（昭和 21）年	・日本国憲法公布（1947 年施行）
1948（昭和 23）年	・国連総会にて、「（ a ）」採択
1969（昭和 44）年	・「同和対策事業特別措置法」施行
1982（昭和 57）年	・「地域改善対策特別措置法」施行
1989（平成元）年	・国連総会にて、「（ b ）の権利に関する条約」採択（日本は 1994 年に批准）
1994（平成 6）年	・国連総会にて、「（ c ）のための国連 10 年」決議
2002（平成 14）年	・「人権教育・啓発に関する基本計画」策定
2004（平成 16）年	・「性同一性障害者の性別の扱いの特例に関する法律」施行
2006（平成 18）年	・国連総会にて、「（ d ）の権利に関する条約」採択（日本は 2014 年に批准）
2008（平成 20）年	・「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」公表
2016（平成 28）年	・「（ e ）問題の解決の促進に関する法律」制定（2009 年施行） ・「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」施行 ・「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」施行 ・「（ f ）の解消の推進に関する法律」施行 ・「奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」施行 ・「奈良県（ f ）の解消の推進に関する条例」施行
2019（平成 31）年	

ア 世界人権宣言	イ 國際人権規約	ウ 人権教育	エ 障害者
オ 女性	カ 児童	キ 高齢者	ク 先住民族
ケ ハンセン病	コ 同和問題	サ 部落差別	シ 女性差別

- |         |       |       |       |       |       |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 a - ア | b - オ | c - カ | d - エ | e - ケ | f - コ |
| 2 a - イ | b - オ | c - ク | d - カ | e - エ | f - コ |
| 3 a - ア | b - エ | c - ウ | d - カ | e - オ | f - シ |
| 4 a - イ | b - エ | c - カ | d - オ | e - キ | f - サ |
| 5 a - ア | b - カ | c - ウ | d - エ | e - ケ | f - サ |
| 6 a - イ | b - カ | c - オ | d - キ | e - エ | f - シ |

問 20 下の文は、「今後の道徳教育の改善・充実方策について（報告）～新しい時代を、人としてより良く生きる力を育てるために～」（平成 25 年 12 月 26 日 道徳教育の充実に関する懇談会）の一部である。文中の（　　）に当てはまる数字を 1～5 から 1 つ選べ。

第 1 章 なぜ今道徳教育の充実が必要なのか

1 道徳教育の現状等について

(1) 道徳教育の意義、これまでの経緯

(前略)

戦後の我が国における道徳教育は、学校教育の全体を通じて行うという方針の下に進められてきた。特に、昭和（　　）年改訂の学習指導要領において小学校及び中学校における各学年週 1 時間の「道徳の時間」が設置されて以降は、この道徳の時間が、各教科等における道徳教育を補充、深化、統合するものとして位置付けられた。

(後略)

1 32 2 33 3 34 4 35 5 36

問 21 下の文は、「道徳に係る教育課程の改善等について（答申）」（平成 26 年 10 月 21 日 中央教育審議会）の一部である。文中の（ a ）～（ c ）に当てはまる語句を ア～カからそれぞれ選んだとき、正しい組合せはどれか。1～6 から 1 つ選べ。

(2) 道徳教育のねらいを実現するための教育課程の改善

(略)

また、今回の道徳教育の改善に関する議論の発端となったのは、（ a ）への対応であった。児童生徒がこうした現実の困難な問題に（ b ）に対処することのできる（ c ）ある力を育成していく上で、道徳教育も大きな役割を果たすことが強く求められている。道徳教育を通じて、個人が直面する様々な事象の中で、状況を深く見つめ、自分はどうすべきか、自分に何ができるかを判断し、そのことを実行する手立てを考え、取り組めるようにしていくなどの改善が必要と考えられる。

ア 予測困難な社会の変化 イ いじめの問題 ウ 柔軟 エ 主体的  
オ 即効性 カ 実効性

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1 A - ア B - エ C - オ | 2 A - ア B - ウ C - オ |
| 3 A - ア B - エ C - カ | 4 A - イ B - エ C - カ |
| 5 A - イ B - ウ C - カ | 6 A - イ B - ウ C - オ |

問 22 下の文は、障害者基本法（昭和 45 年法律第 84 号）の一部である。文中の（　）に当てはまる数字を 1～5 から 1 つ選べ。

第十六条 国及び地方公共団体は、障害者が、その年齢及び能力に応じ、かつ、その特性を踏まえた十分な教育が受けられるようにするため、可能な限り障害者である児童及び生徒が障害者でない児童及び生徒と共に教育を受けられるよう配慮しつつ、教育の内容及び方法の改善及び充実を図る等必要な施策を講じなければならない。

(略)

3 国及び地方公共団体は、障害者である児童及び生徒と障害者でない児童及び生徒との（　）を積極的に進めることによって、その相互理解を促進しなければならない。

- 1 共生社会の形成      2 インクルーシブ教育      3 交流及び共同学習  
4 居住地校交流      5 学校段階間のつながり

問23 下の文は、「特別支援教育の推進について（通知）」（平成19年4月1日 文部科学省初等中等教育局長）の一部である。文中の（　　）に当てはまる語句を1～5から1つ選べ。

3. 特別支援教育を行うための体制の整備及び必要な取組

(2) 実態把握

各学校においては、在籍する幼児児童生徒の実態の把握に努め、特別な支援を必要とする幼児児童生徒の存在や状態を確かめること。

さらに、特別な支援が必要と考えられる幼児児童生徒については、特別支援教育コーディネーター等と検討を行った上で、保護者の理解を得ることができるよう慎重に説明を行い、学校や家庭で必要な支援や配慮について、保護者と連携して検討を進めること。その際、実態によっては、医療的な対応が有効な場合もあるので、保護者と十分に話し合うこと。

特に幼稚園、小学校においては、発達障害等の障害は（　　）が重要であることに留意し、実態把握や必要な支援を着実に行うこと。

- |             |           |           |
|-------------|-----------|-----------|
| 1 早期発見・早期支援 | 2 医療での診断  | 3 保護者との連携 |
| 4 校内委員会での検討 | 5 発達検査の実施 |           |

【解答】

問 1	6
問 2	1
問 3	2
問 4	3
問 5(1)	6
(2)	6
(3)	1
(4)	4
問 6(1)	3
(2)	3
(3)	4
(4)	5
(5)	6
問 7	4
問 8	2
問 9	6
問 10	1
問 11	3
問 12	5
問 13	2
問 14	4
問 15	1
問 16	3
問 17	1
問 18	6
問 19	5
問 20	2
問 21	4
問 22	3
問 23	1